|  |
| --- |
| **０００７．メール型宛先管理登録**  **呼出し** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＵＯＭ１１ | メール型宛先管理登録呼出し |

１．業務概要

入力元がメール処理方式であり、出力パターンがＩＮＱ型／ＥＸＺ型の宛先について、出力先のメールボックスＩＤまたは出力端末名を出力情報コード単位に呼び出す。

呼び出された情報は、「メール型宛先管理登録（ＵＯＭ）」業務により訂正を行うことを可能とする。

２．入力者

全利用者（税関、厚生労働省（食品）、動物検疫所、植物防疫所、入管（航空）、検疫所（人・航空）、厚生局等、輸出証明書等発給機関は除く）

３．制限事項

なし。

４．入力条件

（１）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

なし。

（３）利用者ＩＤＤＢチェック

①入力された利用者ＩＤが利用者ＩＤＤＢに存在すること。

②入力された利用者ＩＤの利用者コード（５桁）が入力者の利用者ＩＤの利用者コード（５桁）であること。

（４）利用者ＤＢチェック

入力された入力元メール種別が、入力された利用者ＩＤの利用者コード（５桁）が利用可能なメール種別であること。

（５）出力情報コードＤＢチェック

入力された出力情報コードが出力情報コードＤＢに存在すること。

（６）メール型宛先管理ＤＢチェック

入力された入力元メール種別と利用者ＩＤと出力情報コードがメール型宛先管理ＤＢに存在するか否かのチェックを行う。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）メール型宛先管理呼出情報編集処理

メール型宛先管理ＤＢより編集処理を行う。

（３）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| メール型宛先管理呼出情報 | なし | 入力者 |

７．特記事項

ＣＳＦオンラインメンテナンス規制時間帯ＤＢにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。（規制時間帯は別途定めることとする）